



# しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシエット

H30. 7月 NO. 24

流行状況 (H30.6/1~6/30 検査陽性者のみ) 対象: 当院受診者

	市 内		市 外	
	未就学児	就学児	未就学児	就学児
溶連菌	176	99	172	100
アデノウイルス	23	1	8	2
ヒトメタニューモ	5		5	
インフルエンザ A	1			2

## しろやぎさんのポシエットのお部屋から

お子さんが急にお熱を出したり、体調を崩して保育園、幼稚園等をお休みしなくてはならない時、お仕事やご用事でご家庭で看病ができない時に、ご利用していただけるお部屋です。

病気の種類と症状に応じて部屋分けをしています。感染症以外の病気や、怪我や骨折、医療的ケアが必要な障がいのあるお子さんでも大丈夫です。那珂キッズクリニック小児科の看護師と保育士がお子さんを看させていただきます。(点滴や手術など、入院処置が必要なお子さんはご利用いただけません。)

### 《ご利用方法》

ご利用には事前の登録が必要です。那珂キッズクリニック小児科の受付でお申し込みください。

ご登録の際に必要な書類と、ご利用に関する規約書をお渡しし、WEB 予約の方法について説明いたします。

対象年齢やご利用時間や料金等は、ホームページまたはクリニック受付でご確認ください。

## 今月の遊び紹介

今年の梅雨は早くあけて、暑い日が続いていますね…。夜空も晴れて星が沢山みられる日が多くなりそうですね

七夕の夜も晴れるといいね！と しろやぎさんを利用してくれた子ども達と話をしました。

7月7日の夜に、色とりどりの短冊に願いを書いて、笹の葉に吊るして星に願い事をします。昔、笹は生命力が強く、邪気を祓ってくれる植物と考えられていました。天に向かってまっすぐ伸びる笹には、短冊に書かれた願い事を空(天)に届けてくれるパワーがあると考えられていたようです。



昔の人はロマンチストだったんですね。

しろやぎさんの子ども達も、願い事を書いて、素敵な短冊と飾りを作りました。

暑い日が増え、夏の日差しが降り注ぐようになりました。水の事故や熱中症、夏かぜに気をつけながら、元気いっぱい夏を楽しみましょう。



### 【とびひ(伝染性膿痂疹)】

「とびひ」は、正しくは伝染性膿痂疹と言います。黄色ブドウ球菌やレンサ球菌といった名前前の細菌が原因で起こる皮膚の感染症です。

とびひは、擦り傷や虫刺され、あせも、湿疹などに化膿菌(黄色ブドウ球菌やレンサ球菌)が入り込んで水ぶくれができます。これを掻き壊した手で他の場所を掻くと、そこにまた水ぶくれが「とびひ」します。

これらの細菌は、健康な皮膚には感染しませんが、傷ができていたり、アトピー性皮膚炎があったりすると、皮膚の抵抗力が弱くなっている為、感染してしまいます。とびひは、主に高温多湿になる6月~8月の夏にかけて、皮膚の抵抗力の弱い0~6歳のこどもに多く見られます。

「虫刺されの痕がいつまでも痒く、ジュクジュクして、いろいろなところに増えてきた」という症状がある場合には、「とびひ」を疑ってください。とびひは有効な外用薬を使用すればだいたい3日程度で症状が改善してきます。近年、ゲンタシン軟膏やVG軟膏などが効かないタイプ(耐性菌の可能性がありますが)が増えていきます。3日以上お薬を使っているのによくならない場合は、お薬の変更が必要ですので、お早めに相談してください。

### 【とびひ予防の心得】

- ① 夏は、毎日お風呂に入るかシャワーを浴びて、石鹸を使ってよく洗浄し、皮膚は常に清潔にするように心がけましょう。患部(ジュクジュクした部分、かさぶたになった部分)は、ゴシゴシこすらずに石鹸をよく泡立てて手で優しく洗い流し、その後、軟膏を塗ってください。
- ② 湿疹、アトピー性皮膚炎の治療に努めましょう。
- ③ 虫刺され、擦り傷などは早めに治療しましょう。
- ④ 爪は短く切り、外出後や遊んだ後は手をよく洗いましょう。
- ⑤ 鼻の中には「とびひ」の原因となる黄色ブドウ球菌がたくさんいますから、鼻をいじるのはやめましょう。

お問い合わせやご相談は

那珂キッズクリニック小児科 病児の保育しろやぎさんのポシエット TEL: 090-2542-5630